

「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 28 年 6 月 10 日

仕事の内容	中央図書館事業				
担当部署・課長名	中央図書館	課	事業	係	課長名 當摩 弘

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 生涯学習の充実

(総合計画書 35 ページ)

予算名	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	図書館費	事業 2	中央図書館事業費	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)			
	東大和市立図書館利用対象者					東大和市民 東大和市に在勤・在学の方 → 相互利用協定を結んでいる自治体在住者(平成28年3月31日現在 東村山市・武蔵村山市・立川市)			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 図書等に親しみ、また必要な情報を図書館で得ることができる。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → 利用登録者数/人口			
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)			
	①おはなし会等の行事 ②HP、図書館だより等の広報(PR) ③社会教育団体との共催事業の実施(講座・講演会等)					①実施回数 ②更新(発行)回数 ③実施回数			

2 指標の推移			単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標
	対象指標	①の数値	人	85,382	86,092	86,044		
	成果指標	②の数値	%	49	44	44		
	目 標	②の目標値						
			目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値	回	①48 ②1	①48 ②2 ③4	①48 ②1 ③2		

3 経費	事業費		円	26,206,531	27,515,659	27,785,123	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	1,194,259	14,858,974	13,491,287	
		特定財源	円	14,262,272	12,656,685	14,293,836	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	10.0	10.0	10.0	
		所要人数(再任用)	人	1.0	1.0	1.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	82,980,000	82,980,000	82,330,000	
	職員人件費(再任用)	円	2,922,000	2,922,000	2,999,000		
事業費+人件費		円	112,108,531	113,417,659	113,114,123		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	昭和59年4月15日、東大和市立中央図書館開館 図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般の公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する(「図書館法」第二条)	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 ・利用者要求の多様化 ・地区館(桜が丘、清原の整備) ・インターネットを利用したサービス ・近隣市との相互利用	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	<ul style="list-style-type: none"> (市民より) 開館日数・時間の増について (議員から) 居場所としての図書館の利用について (利用者の実態) 高齢者の利用の増がある 	

仕 事 の 内 容	中央図書館事業					
担当部署・課長名	中央図書館	課	事業	係	課長名	當摩 弘

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	取り組んだ	取組手法 <small>①共催(講演会) ③事業協力(広報等) ⑥情報提供・情報交換(定例会への参加) ⑦場の提供(活動場所・物品の保管場所等)</small> 【取組手法の種類】 <small>①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他()</small>	
(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。			
7 課 題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。		
	職員数の不足 職員の経験・知識の蓄積不足		
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など)		
	人員増 適切な人員配置		
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。 ボランティア団体等の協力団体、協力者の発掘。		
(3) 改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成 果	成果を向上させる。	経 費	仕事の経費を増加させる。